

2009年度

科目名	日本語音声学			
担当教員	増田 正子			
配当	教福2		コード	22290
開期	通年	講時	火曜日2限	単位数 4
授業テーマ	日本語音声のしくみを考える。			
目的と概要	日本語の音声・音韻の概略と特色を、日常のさまざまな疑問に答える形で考えていく。前半は、音声学の基本的事項を理解しその上で、日本語の母音・子音、さまざまな音声現象について具体例を通して明らかにしていく。後半は、音韻の変化、アクセント、イントネーション、地域語等について考える。演習を行う予定。			
成績評価法	前期、後期の記述試験、演習発表、小課題によって評価する。 出席状況も平常点とする。			
テキスト	基本的にはプリントを配布する。			
参考書	講義時に適宜紹介する。			
履修に 当たっての 注意・助言				
講義計画				
<ol style="list-style-type: none"> 1. 人間の言語の特質、言語の機能、言語行動と非言語行動について 2. 音声と音韻、音韻の単位、分類 3. 日本語の音韻の特色 4. 日本語の母音 5. 日本語の子音(1) 6. 日本語の子音(2) 7. 日本語の子音(3) 8. 日本語の子音(4) 9. 拍の構造、特殊拍について 10. 音韻の変化と変遷(1) 11. 音韻の変化と変遷(2) 12. 音韻の変化と変遷(3) 13. 日本語のアクセント(1) 14. 日本語のアクセント(2) 15. まとめ(前期) 16. 日本語のアクセント(3) 17. 日本語のアクセント(4) 18. 日本語のアクセント(5) 19. 日本語のアクセント(6) 20. 日本語のアクセント(7) 21. 日本語のイントネーション・プロミネンス等(1) 22. 日本語のイントネーション・プロミネンス等(2) 23. さまざまな音声現象についての疑問と解明(1) 24. さまざまな音声現象についての疑問と解明(2) 25. さまざまな音声現象についての疑問と解明(3) 26. さまざまな音声現象についての疑問と解明(4) 27. さまざまな音声現象についての疑問と解明(5) 28. 音声に関わる演習(1) 29. 音声に関わる演習(2) 30. まとめ 				